

国宝

創建1250年記念特別展

春日大社のすべと

Special Exhibition: Commemorating 1250 Years since the

Founding Kasuga Taisha: Centuries of Worship Revealed in Sacred Treasures

平成30年

4月14日(土) ~ 6月10日(日)

奈良国立博物館
Nara National Museum

開館時間: 午前9時30分 ~ 午後5時 毎週金・土曜日は午後7時まで

※入館は開館30分前まで

(名品展は開館時間が異なります。詳しくは当館ホームページをご覧ください)

休館日: 毎週月曜日 ※ただし4月30日(月・振替)は開館

主催: 奈良国立博物館、春日大社、朝日新聞社、NHK奈良放送局、NHKブラネット近畿

後援: 文化庁、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、奈良テレビ放送

協賛: ダイキン工業、竹中工務店、天理時報社、福寿園、協力: 日本香堂、仏教美術協会



創建1250年の 決定版！

春日大社ゆかりの地に
宝物が集結

平成30年、春日大社は神護景雲2年(768)の創建以来ちょうど1250年を迎えます。平成28年に第60次式年造替で本殿をはじめとする各社殿が美しく修理造営され、大きな注目を集める春日大社にとって節目の年となります。

本展は、春日大社ゆかりの地に建つ奈良国立博物館で、春日大社および春日大社に対する信仰の全容を包括的に紹介する、決定版ともいえる展覧会です。国宝に指定された古神宝類や数多の奉納品、創建当初の縁起に関わる鹿島や香取の宝物、修理後初公開となる縁高約4メートルにおよぶ「鼉太鼓」、宮廷から村落にまで広がった春日信仰の展開を示す美術品や歴史資料などを一堂に展示し、1250年にわたる歴史と信仰の美をたどります。

鹿に乗って 降り立った!?

春日大社創建の縁起にせまる
本社第一殿に祀られる武甕槌命は、常陸国鹿島から白鹿に乗って御蓋山に降り立ったと伝えられています。また第二殿には下総国香取の経津主命が祀られるなど、春日大社には関東との深いつながりがうかがえます。1250年前に創建された春日大社の縁起にせまる宝物の数々をご覧ください。



鹿島立神影図
南北朝～室町時代・14～15世紀
奈良・春日大社蔵
【展示期間:5月15日～6月10日】
武甕槌命が鹿に乗って春日の地に降り立った姿を表しています。



国宝 海獣葡萄鏡
中国・唐・7世紀 千葉・香取神宮蔵
日本三名鏡と称されるうちの一つです。唐より将来された鏡上がりのよい大型の海獣葡萄鏡で、伝来について春日大社との関係が注目されます。



国宝 直刀・黒漆平文太刀拵
奈良～平安時代・8～9世紀
淡路・鹿島神宮蔵
※写真は拵

現存する直刀として最大(全長約2.5メートル)。武神として知られる武甕槌命の神剣「御剣」として大切にされてきました。

平安の 正倉院

春日大社には国宝に指定されたたくさんの古神宝類が伝わり、その数の多さや水準の高さから「平安の正倉院」と称されます。



国宝 若宮御料古神宝類より
銀鶴
平安時代・12世紀
奈良・春日大社蔵



「金地螺鈿毛抜形太刀」復元模造

現代 文化庁蔵【展示期間:4月14日～5月13日】

修理時の知見をもとに、人間国宝をはじめとする名匠の力を結集し、鮮やかによみがえりました。

平安時代から 続く黄金の輝き

国宝 金地螺鈿毛抜形太刀
平安時代・12世紀 奈良・春日大社蔵
【展示期間:4月14日～5月13日】

優れた造形で、本宮御料古神宝類から独立して国宝に指定されました。猫が雀を追う様子を表した、螺鈿表現の最高峰です。近年の調査により金具が金製であることが判明し、話題を呼びました。

春日信仰 が生み出した 春日宮曼荼羅

重要文化財 春日宮曼荼羅
鎌倉時代・13世紀 奈良・南市町自治会蔵

春日大社が藤原氏の氏神として信仰を集める中で、春日の地へ行かなくとも春日の神々を礼拝することができ「春日曼荼羅」が盛んに作られました。本展では選りすぐりの春日曼荼羅が一堂に並びます。



神 仏習合

神と仏の織りなす
美と信仰の世界

本地垂迹思想に基づいて中世には春日大社の祭神にも本地仏があてられ、春日信仰は仏教と習合して発展しました。神と仏の織りなす美と信仰の世界を、本地仏の仏像や絵画、舍利容器などの工芸品を通じてご紹介します。



仏様それとも神様？

十一面観音立像
善門作 鎌倉時代・承久3年(1221)
奈良国立博物館蔵
無垢な少年を思わせる表情が印象的な十一面観音像です。像の内側に記された銘文と、像内に納められていた経巻の奥書から、春日社本殿第四殿の祭神・比売神の本地仏として制作されたと考えられます。

美しさと迫力を 兼ね備えた甲冑類の 名品

春日大社に奉納されるために特別に制作された鎧は、格調高く気品にあふれた姿で、いずれも日本を代表する名品です。大切に保管され、奇跡的な保存状態を保っています。



国宝 赤糸威大鎧(梅鶯飾)
鎌倉時代・13世紀
【展示期間:5月8日～6月10日】
国宝 黒韋威伊予札胴丸
南北朝～室町時代・14世紀
【展示期間:5月8日～6月10日】
いずれも奈良・春日大社蔵

国宝 赤糸威大鎧(竹虎雀飾)
鎌倉～南北朝時代・13～14世紀
【展示期間:4月14日～5月13日】
国宝 黒韋威胴丸
南北朝～室町時代・14世紀
【展示期間:4月14日～5月13日】

春日大社に祀られる神々の 霊験が描かれた絵巻

春日権現験記絵は、春日の神の霊験譚を集めた春日信仰の結晶ともいえる絵巻です。絵巻としては異例の細目に表された宮廷絵師・高階隆兼による美しい絵は、鎌倉絵巻の最高峰ともいわれます。

春日権現験記絵
鎌倉時代・延慶2年(1309)頃 東京・宮内庁三の丸尚蔵館蔵
【展示期間:第1巻・第6巻/4月14日～5月13日、第10巻・第11巻/5月15日～6月10日】



※画像は第1巻より



重要文化財
鼉太鼓 左方籠
鎌倉時代・13世紀
奈良・春日大社蔵



春日若宮おん祭の様子(現在は復元された鼉太鼓が使用されている)

本展と同時期に開催される 春日大社の催し



砂ずりの藤

南門の左手にある欄干の藤。樹齢700年以上といわれ、花房が地面に届くほど長く垂れることからこの名が付けられています。



鹿島立御鈴

春日大社 桂昌殿

春日大社御創建1250年記念

「秘宝・鹿島立御鈴特別公開」

創建1250年を記念し、徳川綱吉の生母である桂昌院寄進の桂昌殿を特別に公開。室内において春日大社に伝わる鹿島立御鈴影図とともに、奈良時代に神様のお供の神主が持参したと伝わる鹿島立御鈴を特別にお飾りし、あわせて春日信仰にまつわる宝物を拝観いただきます。

会 期：【前期】4月14日(土)～4月25日(水)
【後期】5月26日(土)～6月10日(日)
休館日：会期中無休
時 間：午前10時～午後4時30分(入場は午後4時まで)
拝観料：小学生以上200円
※「国宝 春日大社のすべて」展のチケット(半券可)提示で100円引き



萬葉植物園

『萬葉集』に詠まれた植物が集まる、国内最古・最大規模の萬葉植物園。園内には、春日大社の社紋が藤の花であることから「藤の園」が造られ、20品種・約200本もの藤の木が咲き誇ります。

時 間：午前9時～午後5時
(入場は午後4時30分まで)
休園日：無休
拝観料：高校生以上 500円(400円)
小・中学生 250円(200円)
()内は20名以上の団体料金



春日大社 国宝殿

春日大社御創建1250年記念展II

「聖域 御本殿を飾る美術」

一般には立ち入ることの許されない聖域である春日大社御本殿。御本殿を彩る美を間近に感じられるよう修復・復元された御神前の御簾や、御立に仕立てられた障壁画、御神前の獅子・狛犬など、王朝貴族の雅な春日詣を体感できる展覧会です。

会 期：4月1日(日)～8月26日(日)
休館日：会期中無休
時 間：午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで)
拝観料：一般500円(400円)、高校・大学生300円
小・中学生200円 ()内は20名以上の団体料金



「国宝 春日大社のすべて」展 公式キャラクター かとう 鹿藤さようだい



さあ、歩こう！ 近隣マップ

奈良国立博物館から
春日大社を
ぐるり



観覧料金 ※料金はすべて税込み

	一般	高校・大学生	小・中学生
当日	1,500円	1,000円	500円
前売・団体	1,300円	800円	300円

※団体は20名以上 ※通常の前売券の発売は、3月14日(水)から4月13日(金)まで
※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料 ※本展の観覧券で名品展(なら仏像館・青銅器館)もご覧になれます

販売場所 当館観覧券売場、近畿主要駅、近畿日本ツーリスト、JR東海ツアーズ、PassMe!, dトラベル、日本旅行、ローソンチケット(Lコード:55357)、セブンイレブン、チケットぴあ(Pコード:768-905)、イープラスなど主要プレイガイド、コンビニエンスストア ※チケットの購入時に手数料がかかる場合もあります。

特別チケット ※料金はすべて税込み ※券種はいずれも一般のみ

早割セット券 | 1,250円

「国宝 春日大社のすべて」展 + 春日大社国宝殿

本展の観覧券と、春日大社国宝殿の拝観券(一般500円)がセットになった、販売期間限定のセット券です。春日大社創建1250周年を記念した特別価格です。

販売期間 2月14日(水)～3月13日(火)

販売場所 ローソンチケット、セブンイレブン、チケットぴあ、PassMe!, dトラベル
※本セット券の春日大社国宝殿拝観券は、本展開催期間中(4月14日(土)～6月10日(日))のみ有効です。
※2枚の券が別々に発売されます。

3箇所周遊前売券 | 1,650円

「国宝 春日大社のすべて」展 + 春日大社国宝殿 + 萬葉植物園

本展の観覧券と春日大社国宝殿の拝観券(一般500円)、萬葉植物園の拝観券(高校生以上500円)がセットでお得な前売券です。

販売期間 3月14日(水)～4月13日(金)

販売場所 ローソンチケット、セブンイレブン、チケットぴあ
※本セット券の春日大社国宝殿拝観券および萬葉植物園拝観券は、本展開催期間中(4月14日(土)～6月10日(日))のみ有効です。 ※3枚の券が別々に発売されます。

奈良一刀彫 白鹿の置物 セット前売券 | 2,500円

「国宝 春日大社のすべて」展 + グッズ引換券(白鹿の置物)

本展の観覧券と、奈良の伝統工芸「一刀彫」(奈良人形)による白鹿の置物の引換券がセットになった前売券です。職人の土井志清氏が一点一点手作業で彫り上げ、彩色しました。本展限定のグッズです。

販売期間 3月14日(水)～4月13日(金)

販売場所 ローソンチケット、セブンイレブン、チケットぴあ、PassMe!, dトラベル

※本展観覧券とグッズ引換券が別々に発売されます。両方をお持ちください。
※グッズは展覧会会期中、奈良国立博物館の本展入口におき換えください。
※グッズは会場の特設ショップでも販売する予定です。



イベント

記念講演会

「御創建1250年 春日大社のすべて」

花山院弘匡氏(春日大社宮司)

4月14日(土)

公開講座

①「春日権現験記絵と解脱房貞慶」

高橋悠介氏(慶應義塾大学附属研究所道文庫准教授)

4月21日(土)

②「春日大社伝来甲冑の特質」

宮崎隆旨氏(元奈良県立美術館長)

5月12日(土)

③「春日をめぐる神仏と造形」

清水健(当館工芸考古室長)

5月26日(土)

時間：午後1時30分～3時(午後1時開場)

会場：当館講堂

定員：各194名

聴講無料

※各日12時から講堂前にて入場整理券を配布します(先着順、お一人様につき1枚)。入場整理券の受取の際には本展の観覧券もしくはその半券、奈良博プレミアムカード等をご提示ください。 ※入場受付は講座開始後30分で終了いたします。

表面右上から時計回りに：「国宝」若宮御料古神宝類より 金鶴及銀樹枝 平安時代・12世紀 春日大社蔵／重要文化財 鑑太鼓(左方・龍) 鎌倉時代・13世紀 春日大社蔵／一面観音立像 善門作 鎌倉時代・承久3年(1221) 奈良国立博物館蔵／重要文化財 春日神像 御正体 鎌倉～南北朝時代・14世紀 細見美術館蔵／「国宝」赤糸威大鏡(竹虎雀飾) 鎌倉～南北朝時代・13～14世紀 春日大社蔵(展示期間：4月14日～5月13日)／「国宝」赤糸威大鏡(梅鶯飾) 鎌倉時代・13世紀 春日大社蔵(展示期間：5月8日～6月10日)／鹿座仏舎利 江戸時代・慶安5年(1652) 春日大社蔵／「国宝」金地螺鈿毛抜形太刀(部分) 平安時代・12世紀 春日大社蔵(展示期間：4月14日～5月13日)



奈良国立博物館
Nara National Museum

交通案内

近鉄奈良駅から登大路を東へ徒歩約15分、JR奈良駅または近鉄奈良駅から市内循環バス外回り「氷室神社・国立博物館」バス停下車すぐ

本展関連フォーラム

「まほろばの神と仏と祈り」

日時 4月30日(月・振休)
午後1時30分～4時30分
(午後1時受付開始)

会場 奈良春日野国際フォーラム
堂～I・R・A・K～ 能楽ホール

定員 400名
聴講無料

●春日大社 至室の魅力
「『平安の正倉院』を十倍、楽しもう」
清水健(当館工芸考古室長)

●パネルディスカッション
「まほろばの神と仏と祈り」
パネリスト：花山院弘匡氏(春日大社宮司)
多川俊映師(興福寺貫首)
山折哲雄氏(宗教学者)
澤田瞳子氏(作家)

コーディネーター：阿部陽子(NHKアナウンサー)

※事前申込制、応募多数の場合は抽選。
※詳細はNHK奈良放送局のホームページへ。

〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内)

ハローダイヤル 050-5542-8600

奈良国立博物館 ホームページ <http://www.narahaku.go.jp/>

